

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 わかたけ共済部	代表者	白藤 宗徳	法人・ 事業所 の特徴	わかあいあい わかたけは平屋建ての木材が多く使用されており、木の持つ暖かさ、やわらかさがある施設です。同一敷地内に、法人内の保育所、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、居宅介護支援事業所の施設があり、施設間の交流、連携が行われています。事業所の様子とし、事業所名のように、利用者と一緒にわかあいあいと利用者の笑顔が見られるように過ごしてもらえることを心がけています。
事業所名	わかあいあい わかたけ	管理者	佐藤 由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	家族と利用者の関係性を考慮しながら家族の出来る事と事業所のサービスを柔軟に組み合わせるサービス提供していく。職員各自が現場の状況によって瞬時に判断が出来るよう知識面のスキルアップに努める。	家族、利用者それぞれに関係性を築くことでニーズに基づき柔軟にサービスを組み合わせることが出来た。知識を深めるために研修を通して職員それぞれがスキルアップ出来た。	「ほとんどできていない」の方を「できている」の方が指導、伝達していくと「ほとんどできていない」が減ると思う。職員のスキルアップに今後も継続して欲しい。	継続してミーティング・カンファレンスを定期的に行い、「できている」項目を継続し、それぞれの職種が連携・協力し、より良い支援となるよう取り組む。職員のスキルアップに今後も継続する。
B. 事業所のしつらえ・環境	職員が働きやすいよう環境整備の継続と利用者が通いたくなるような四季に沿った展示物や畑作業のできる環境を整える。目で楽しみ体を動かす喜びを感じる事が出来る環境づくりに取り組む。	定期的に環境整備が出来る仕組みの中で事業所内を清潔に保つことが出来た。四季に沿った展示物を鑑賞したり、畑作業に参加する環境の中で利用者の笑顔を引き出すことが出来た。	不快な音や臭いはしたことがない。施設されてなく初回訪問時も安心感があり、玄関横にすぐ事務所があり要件等を伝えやすくなっている。利用者の笑顔を引き出すことが出来ているので継続して欲しい	日々の清掃、環境整備を継続し、来客者の対応を評価していただき居心地の良い環境になるよう努める。利用者の笑顔を引き出す環境づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域との顔なじみの関係づくりを継続し介護へのファーストコンタクトの場として開けた環境の事業所を目指していく。	地域住民と顔を合わせる機会が増えたことで顔なじみの関係性を築けた。職員間で些細な声も共有することで事業所が開けた環境になれるように共有意識が出来た。	積極的に地域の活動に参加をし、事業所のことを知っていただくといいと思う。日頃からの挨拶や声掛け、今できる「つながり」の継続をお願いします。	日中活動や地域行事への参加を通して利用者・職員が地域との繋がりの意識を高め、また地域の方々にも事業所理解を深め、地域資源の一つとして認知されるようふれあいの機会を増やす。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者との日々のコミュニケーションを大事にして地域との繋がり、家族と地域との繋がりにも目を向け利用者自身が自分らしい生活を送れるようケアプランに沿ってサービス提供につなげる。	事業所を利用していない時間にも目を向け利用者本人が自分らしい生活を送ることが出来るよう情報を職員間で共有出来た。	車の移動だけでもいいので地元をめぐるど本人と話を深めれると思う。少人数での外出などがされているようなので、今出来ることをしっかりされていると感じた。	地域の方と一緒に利用者暮らしを支えられるよう支援するため、積極的に地域に出向き地域の方とお話や関わられる機会をつくる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見や地域の声は職員間で共有し取り組み活動に対するモチベーションの維持につなげる。運営について職員一人一人が意見をもちよう会議に参加していく。	運営推進会議で出た意見や地域の声を取り組み活動に対するモチベーションの維持につながった。当事者意識の芽生えから意見を持ち発言出来る職員が増えた。	事業所の取り組み、状況説明が分かりやすく、写真で様子を報告してくれているのでご利用者の様子、楽しんでいる姿など見ることが出来ている。職員が意見を出せる環境はいいこと、継続して欲しい	運営推進会議を通して事業所の取り組みや状況説明、改善点を報告・相談をおこなっていく。今後も職員が意見を出しやすいよう会議の参加、環境を整える。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災計画を運営推進会議等で共有しながら地域の防災訓練に実際に参加する。あらゆる災害に備え協力体制を維持し連携が取れるよう顔なじみの関係づくりを強化する。	顔なじみの関係をつくることであらゆる災害に備え協力体制、連携の基盤を作ることが出来た。	機会があれば防災訓練は見せてほしい。家族としても災害の際など事業所の方を頼りにしているので、避難訓練を継続している。	近隣の方々や地域の方々より事業所の防災訓練に参加していただくと共に、地域の防災訓練に参加できるような体制作りを整える。